

---

# 遊戯王 刻印の決闘者

鉄人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王 刻印の決闘者

### 【Nコード】

N9660Y

### 【作者名】

鉄人

### 【あらすじ】

ネオトミノ・バトルシティ  
NDBC開幕。集いし決闘者たちの物語。

この小説は遊戯王の世界観を原作とした二次創作です。さらに独自の設定、解釈や原作準拠でないキャラクターやカード、いわゆるオリジナルな要素も多分に含まれているので注意してください。また初投稿ですので拙い文章ではありますが、大目に見てもらえると嬉しいです

## prologue

窓から差し込む光に目を覚ます。どうやら眠ってしまっていたようだ。

すでに朝日は昇り、活動を開始する時刻であることを示していた。早々に身形を整え、部屋を出ると

「おはよう、兄さん」

と少女が笑顔を向け、声を掛けてきた

「おはよう、アリス」

微笑みかえしながら、そう返事をした。

彼女の名はアリス。俺の妹にして唯一の肉親だ。数年前、一家で事故に遭い、父と母は亡くなった。幸運にも生き延びた俺たち兄妹は、各地を転々としながら細々と生活している。

2

「もう日は昇っているというのに、眠そうな顔。また夜更けまでパズルをやっていたの？」

クスリと笑いながらアリスは訊ねてくる。

「いや、昨夜は今日のために、コイツの最終調整をしていたんだ」

俺は否定しながら、カードの束を見せた。

デュエルモンスターズ。この世界では知らないものは居ないだろう、カードゲームだ。

…っと、説明するまでもなかったようだ。先刻見せたのはそのデ

ツキだ。

今日のためにというのは、今日からこのネオドミノシティネオドミノ・バトル  
シティでNDB  
Cというイベントが開催されるのだ。街ひとつ全てをフィールドと  
して行われる、このデュエルイベントは、史上有数の規模のイベン  
トとなるだろう。賞金も並みの額ではない。かく言う俺たちも、そ  
の賞金のためにはるばるこの地を訪れたのだ。

「そつだ、街に乗り出す前に一勝負、していかないか？」

俺が誘うと、アリスは慌てないでといった風に

「愉しみは後にとっておきましょうっ？」

と優雅に笑みをこぼした。

それもそつだな…とデッキを仕舞い、扉に手をかけた俺に後ろから  
掛けられた

「いつてらっしやい」

と送り出す声に、ああ…と応え、俺はゆっくりと戦場へ足を踏み出  
した。

g u e e n d

p r o l o g

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9660y/>

---

遊戯王 刻印の決闘者

2011年11月29日00時59分発行